

看護闘争ニュース

NO.44

2005年2月8日

全日赤・伊達単組

深夜拒否(スト)で2交代撤回!

病院長は、1月28日の交渉で「一度やってみたらいい」と同じ説明を繰り返した上で、「職員は納得している」と不誠実極まりない態度で、精神科病棟の2交代夜勤試行の提案をしてきました。さらに、病院提案の2交代では、休憩時間は70分となっており、仮眠時間がありません。院長は「仮眠は法律で定められたものではない」と主張し、2月1日からの強行を提案して来ました。

単組は、2交代制に変更しなければならない理由、3人夜勤にし仮眠時間を確保するなど、労働条件の不利益変更を緩和する方策を提示すること、労使合意のもとに試行を開始すべき、早計に2交代を一時的に行わないことなどの4項目を要求し、31日に回答を求めましたが、病院はいっさい回答せず、不誠実な態度に終始していました。

3交代を条件に雇用契約したにもかかわらず、職員の同意を得ることなく、一方的に2交代に変更することは契約違反であり、就業規則の変更届をせずに労働時間を変更することは労基法違反です。ただちに労基署に告発しました。

精神科病棟の組合員は、長時間夜勤に反対し、深夜帯の業務についてストライキを行うこと意思統一し、2月1日、病院にストライキ通告を行い、当日組合員は通告どおり、準夜まで働いて深夜のストライキを整然と実施しました。病院は、当日の深夜を非組合員に行わせ、以降の深夜は他の部署の師長や係長に深夜業務をさせる予定で、あくまで組合との対立姿勢を崩さず、要求に応じませんでした。2月2日早朝に、「2交代試行の撤回」を申し入れてきました。全国からの抗議FAXや電報の集中、本社への責任追及など、できる限りの手を打ちながら、毅然とストライキを行った組合の勝利です。

全済生会労組石川支部

全国の抗議FAXが2交代阻止の力に

済生会金沢病院は、1月1日から病棟で2交代制を強行実施すると提案してきました。

さっそく抗議のFAXを全国から集中しました。同日の夕刻に、以下の内容で確認を交わしました。

1. 2005年1月1日よりの病棟2交代実施は行わない。また、そのための就業規則変更届出もなんにも行わない。
2. 年明けに県医労連も入れた団体交渉で、この問題は引き続き協議する。

年末の忙しい中、緊急のFAX要請だったにもかかわらず、多くの組織からの迅速な対応に、病院常務は抗議FAXの束をつかんで「(全国組織の)力を見せ付けやがる」と悔しがっていたそうです。

当面の実施はストップできました。今後、「完全撤廃」まで、手を緩めずたたかっていく決意を支部の役員はかためています。



職場のたたかひの報告をきいて

職場の環境を変えるには、粘り強い努力が必要なのだと感じました。

全国的にさまざまな取り組みの中、前進していることを知った。

正しいことを主張しチャレンジすれば実ると思うが、実った例はすごいと思う。1つでもそれが増えるとみんなの力になる。現実にはエネルギー不足で困難。でも、できないかもしれないがチャレンジしてみることが必要と再認識した。

記念講演をきいて

看護師たちは、自分たちが組織に対して、どのような付加価値を提供しているのかということ、明確で簡潔な言葉で説明できるようになるということ、実践したことを「書く」作業の大切さを学んだ。看護は持久戦、「体力・気力・知力」...。本当にそのとおりだと実感しています。

記念講演をきいて

参加してよかった。現場は着かれきっている。この講演を伝達し、やりがいのある職場をつくりたい。ぜひ県医労連でも呼んで学習会を開催し、本当にやりがいのある職場にしたい。

看護要求実現全国交流会

全国の看護職が集まって、今年も元気のたたかひの交流や春の看護闘争の意思統一を行いました。参加者は、7全国組合・43県医労連・203名でした。

今回の記念講演「ゆきとどいた看護をしたい! チーム医療の中の看護の存在価値を示す」陣田泰子さん(聖マリアンナ医科大学病院看護部長)は大好評でした。

基調報告を聞いて

医療看護情勢が変わっていて、現場は今まで以上に仕事が増えて大変だと感じました。どこも同じ労働条件だと言うことがわかりました。退勤時間調査の結果から、不払い賃金を増員にすれば、13万人になるという結果に驚きました。増員して残業を減らしてほしい。

村上優子さんの悲劇を繰り返さないために

村上優子さんのお母さんに初めて会いました。村上さんは、最後まで患者さんのために思い働き、過労で亡くなりました。もう2度とこのような悲劇がおこらないよう、自分のいのち、患者のいのちを守るためにたたかっていかなければならないと思います。

参加をして

労働条件が整って初めて専門職として職務をはたせるんだ、と看護師として患者の安全を守るよう、このような運動の大切さを知りました。

集会に参加して

集会に参加し、わからなかったことをたくさん聞くことができたりしてとてもよかった。参考資料のとてもよいと思った。職場では、不満は言うが、不満を外に出さないことが当たり前になっている。それではいけない。自分たちの現状や要求をしっかりと外に出していかなければ、何も始まらないということを感じました。

初めての参加 勉強になった

私は、今年1年目で、正直わけがわからず参加しましたが、今の病棟がかかえる問題や求めるもの、各病院の現状等を知り、非常に勉強になりました。看護に対する意識向上につながりました。ありがとうございました。面白かったです。